



## 陸揚庫の保存と活用を考える 公開ヒアリングと意見交換会

12月5日、国の登録有形文化財に登録された「根室国後間海底電信線陸揚庫」について、北方領土対策に関する専門家会議が主催すると意見交換会が二ホロで開催され、保存や活用方法などについて各分野の専門家らが意見を交わしました。

前半の「公開ヒアリング」は陸揚庫保存会の久保浩昭氏や、根室の自然・文化に造詣のある方々や観光協会、千島連盟の協理事長からそれぞれ、陸揚庫の今後の保存方法や今後の活用、あるいはこうした施設を含め根室の歴史や自然を活かした観光振興策や、領土返還運動の啓発のための活用など、様々な角度からの主張がされていきました。

後半の「意見交換会」では北海道博物館学芸員の右代氏をコーディネーターに、根室市市史編纂委員の方、文化財保護の専門家の方を交え、さらに論議を深めていきました。

保護については、どのような形で修復するのか、あるいは潮風や越波から守るために「覆屋」をするのか等が論点となっていました。

また活用については、根室の様々な史跡や自然と連動した一体のストーリー性をもたせ、それぞれのスポットを、市民も観光客も周遊するといった大きな構想など、いろいろなアイデアが挙げられていきました。

また領土問題の啓発施設としても、修学旅行での活用や北方領土の関係から内閣府に財源などの協力を求めることについての提案もありました。

ただ修復をする上でも、また観光に活かすストーリー性を構築する上でも、この「陸揚庫」が、当時のどのような活用がされていたのか、装置など室内の様子がどうだったのか、当時関わりのあった人々の証言や記録が他にあるのか、資料でも分からないことがまだ多くあるそうです。

また、さらに論議になったのは「市民をどのような形で巻き込んでいくのか」という点です。何らかの市民組織を立ち上げたとしても、そうした取り組みを「長く継続していくことが難題」と皆さん懸念していました。

こうした様々な課題に対して、他の事例も参考にしながら研究を深める必要があるようです。

12月6日、市立歯舞学園で第8学年の生徒による「職場体験学習」の報告会が開催されました。歯舞学園は昨年度から小中一貫教育を行う義務教育学校に移行しています。

参観日にあわせて行われた報告会でしたが、根室市役所など体験学習を受け入れた事業所にも公開されました。

生徒さんたちは市内の様々な事業所で職場体験を行い、その中で経験したこと学んだことをパワーポイントを使って報告していました。

生徒自身が作ったスライドは写真やレイアウトを工夫しながら、目標と成果を的確に伝える報告で、感心しながら聞いていました。また、クイズを出したり、学んできた三角巾で腕を支える方法を実演したりと、それぞれ創意工夫をこらした発表でした。

「花屋さんの仕事は力作業もたくさんあり、想像以上に大変だった」

### 根室市議会12月定例月議会 日程と一般質問の項目

12月14日(火)～17日(金)の日程で開催され、9人が一般質問を行います。

12月14日(火) 4番目 橋本竜一

1. 根室市の財政運営について
  - (1) 次年度の予算編成について
  - (2) 今後の建設投資等に備えた財政対策について
2. 福祉施策について
  - (1) 地域福祉計画の策定に向けた進捗状況について
  - (2) 介護予防の取り組みについて

12月15日(水) 7番目 鈴木一彦

1. 災害時における避難所のあり方について
2. 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について
3. 総合運動公園の整備について
4. 根室市における学校教育の課題並びに課題解決に向けた取り組みについて

### 職場 体験 報告会

市立歯舞学園

「私たちが学校生活を送っているのは市役所の人たちのおかげでもあると知った。そのことを頭において、これからの学校生活を過ごしたい」  
「これからはお店で買い物するときにお礼を言いたいと思う。お客さんからお礼を言われると店員さんもうれしい気持ちになる」  
こうした体験が生徒さん達のことから、人生をより豊かにしていくことを願っています。

